

平成17・18年度検討事項について

平成17年度に検討・策定された事項、及び18年度に検討・策定する事項は以下のとおりである。

	知床半島先端部地区	知床半島中央部地区
平成17年度	<p>○「先端部地区利用の心得(案)」の策定 平成16年度に検討・作成された「先端部地区利用の心得(素案)」の検討を進め、「先端部地区利用の心得(案)」とした。</p> <p>○「利用の心得(案)」の継続検討課題の整理 「利用の心得(案)」の実効性ある運用を図るため、別途定めることになっている事項 及び具体的な運用に関わる事項について、以下のように整理を行った。 [基本的取り扱いに関する事項] 立ち入りの抑制(現状程度以下)についての検討 野営地・場所の考え方・扱い 河口部サケ・マス釣りの「場所」と「釣り場区域」の特定 [整理・取りまとめ事項] 事前情報の入手(事前レクチャー)に関する事項 計画書の提出及び帰着後の報告に関する事項 ヒグマ対策の観点から立ち入りを抑制する地域の特定 野営禁止地区の特定</p> <p>現況把握調査 知床沼の植生概況等調査 海域の動力船による利用状況調査 入山カウンター・データ解析調査(観音岩、ウナキベツ)</p>	<p>○「知床半島中央部地区利用適正化基本計画(案)」の策定 平成16年度に検討・作成された「中央部地区利用適正化基本計画(素案)」の検討を進め、「先端部地区利用適正化基本計画(案)」を策定した。</p> <p>*「知床半島中央部地区利用適正化基本計画」の策定(平成17年9月) 検討会議における上記「中央部地区利用適正化基本計画(案)」を受けて、環境省東北海道地区自然保護事務所において「中央部地区利用適正化基本計画」が策定された。</p> <p>○「中央部地区利用適正化基本計画」の具体化に関する検討 「中央部地区利用適正化基本計画」の具体化を進めるため、優先的に検討を進めるエリアの抽出とグルーピング及び検討課題・対応策等の検討、整理を行った。 [優先検討グループ・エリア](【 】=主要エリア、[]=関連エリア) グループ：ア【知床五湖園地・歩道】[ホロベツ園地][車道沿線(横断道～五湖)] グループ：イ【カムイワッカ】[車道沿線(横断道～五湖以奥)][ホロベツ園地] グループ：ウ【羅臼湖】[知床横断道][羅臼温泉集団施設地区][熊越の滝] グループ：エ【知床連山縦走線】[岩尾別温泉～羅臼岳][羅臼温泉～羅臼岳] [カムイワッカ～硫黄山][町道岩尾別温泉道路]</p> <p>現況把握調査 沢登り等バックカントリー利用状況調査 利用適正化に係る利用者動向調査 入山カウンター・データ解析調査(五湖A・B、岩尾別、硫黄山、湯の沢、羅臼湖)</p>
平成18年度	<p>○「利用の心得(案)」の継続検討課題の具体化・明確化 平成17年度において抽出・整理された上記の事項について、基本的な考え方や具体的な内容について整理・検討し、具体化・明確化を図る。 ただし、基本的な方針の「場所、数値の決定等利用の調整にかかるもの」については、今後各関係機関の間で「利用の調整」について検討する中で、必要に応じ修正するものとする。</p> <p>検討に必要な現況把握調査等の実施 知床沼利用状況調査 入山カウンター・データ解析調査(観音岩、ウナキベツ)</p>	<p>○「中央部地区利用適正化基本計画」の具体化に関する検討 平成17年度に検討・整理された優先検討エリア・グループの「知床五湖地域」「羅臼湖地域」「知床連山地域」及び「カムイワッカ地域」について、利用ルールの策定や施設整備の可能性も含めた、各地域の「利用適正化実施計画(案)」を策定する。(別紙「利用適正化実施計画(案)」骨子一覧表 参照)</p> <p>○「利用者マップ：仮称(案)」の作成 利用圧による植生の荒廃が確認されている「知床五湖」「羅臼湖」及び「知床連山」について、利用者への周知を目的として、利用ルートや植生の概況、植生が荒廃している地点等を示した「利用者マップ：仮称(案)」を作成する。</p> <p>検討に必要な現況把握調査等の実施 夜間動物観察状況調査 入山カウンター・データ解析調査(五湖周辺4ヶ所、フレペ遊歩道、岩尾別登山口、羅臼温泉登山口、羅臼湖、熊越の滝)</p> <p>利用適正化に係る利用者動向調査 冬期利用状況調査</p>